

日本の未来を拓く新しい働き方 11月はテレワーク月間 [PK]
【年収300万以上】貴方の語学力や経験を海外で活かしませんか? [PK]

2015.11.5 10:30 文字の大きさ 小 中 大 印刷

【中台首脳会談】

「中国による台湾の選挙介入は逆効果」 松田康博・東京大教授 (中台関係論)

ブログに書く 1 ツイート 37 おすすめ 37 G+ 0

台湾の馬英九総統は、昨年11月の北京でのアジア太平洋経済協力会議 (APEC) を含め、中国の習近平国家主席との首脳会談を模索してきた。この時期に実現したのは、来年1月の総統・立法委員 (国会議員) 選で、野党・民主進歩党の圧勝が伝えられる中、選挙情勢を何とか変えたいという点で、北京側と思惑が一致したからだろう。首脳会談では恐らく、「『一つの中国』が中台間の平和と発展の基礎で、これを認めなければ、どうなるか分からない」と民进党サイドに圧力をかけるようなメッセージが出されるのではないかと推測される。



松田康博氏

ただし2000年の総統選の際、中国は陳水扁氏の当選を阻もうと朱鎔基首相が脅迫めいた発言をしたが、逆効果となり、陳氏支持が増えてしまったとされる。このタイミングでの首脳会談は、中国による台湾の選挙への介入と受け止められ、かえって有権者の反発を招く可能性がある。

習氏は会談により、国内に向け「台湾問題は完全に掌握している」と印象付けることができる。馬氏個人にとっても、初めて対等の立場で中国の指導者と会談したというレガシー (政治的遺産) を残すことができ、願ってもない最高の舞台となろう。(談)

関連ニュース



- ▶ 中台首脳7日に会談 分断後初めて 双方「国家主席」「総統」の肩書き使わず
- ▶ 「選挙に向けた政治操作だ」「民主主義に背く」 中台首脳会談で野党反発

新聞購読のお申し込み 書籍・雑誌

今にも考えよう 産経ニュース 「核のごみ」の最終処分

Gmail for Work 独自ドメインで、もっとプロフェッショナルに。 まずは無料試用

「ニュース」のランキング

瞬間	アクセス	ソーシャル
1	【露旅客機墜落】「機内で爆発…	
2	【南シナ海緊迫】米国、「航行…	
3	【正論】歴史認識は絶対に一致…	
4	【中台首脳会談】「中国による…	
5	【ZOOM】日本の空を守り続…	
6	【露旅客機墜落】米情報機関が…	
7	韓国「慰安婦研究所」設立へ…	
8	カルビー、中国合弁を解消 相…	
9	スマホアプリ「写真袋」運営者…	
10	【普天間移設】慰安婦問題と同…	

もっと見る

プレミアム ミスインターナショナル日本代表に「読モ」の山形純